

令和3年度

施政方針

竹 富 町

目 次

1	はじめに	1
2	町政運営、施策の基本的な考え方	2
3	ふるさとづくりの基本目標について	2
4	安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり	4
5	幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり	5
6	島人を育て心を育むふるさとづくり	5
7	環境を守り自然と調和したふるさとづくり	6
8	活力あふれ飛躍するふるさとづくり	6
9	個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり	7
10	参画と協働による町民が主役のふるさとづくり	8
11	結びに	9
	令和3年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算案	10
	ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策	11

令和3年竹富町議会3月定例会の開会に当たり、私の町政運営に対する、基本的な方針を申し上げ、町民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

1 はじめに

私は、令和2年8月の竹富町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、多くの方々からの力強いご支援を賜り、第21代竹富町長として、竹富町の舵取りを担うこととなりました。町政を担う責任の重大さを改めて痛感し、身の引き締まる思いと、竹富町のたゆまぬ発展に精魂を傾ける決意を新たにしているところであります。

私は、これまで1期4年間、「我が町、竹富町の心豊かなふるさとづくり」への熱い思いをいただき、「決める行政、決める政治」をモットーにスピード感を持って諸問題の解決に取り組んでまいりました。中でも最重要課題であります石垣庁舎整備については、基本設計、実施設計を経て、建築工事の着手に漕ぎ着けることができました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界各地に広がり、多くの尊い命が奪われるなど、本町を含め国内外で社会的・経済的影響を受けました。

新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった世界自然遺産登録に向けた施策やウィズコロナ・アフターコロナを見据えた施策を国及び県の関係機関と連携を図りながら安全安心なまちづくり、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化してまいります。また、これまでの自然災害・火災を教訓に本町の防災・減災への取り組みについても強化していく所存であります。

行政を運営するに当たっては、依然と厳しい財政状況にありますが「全ての町民が心豊かでいきいきと暮らすふるさとづくり」に向け、本町の産業の

振興、超高齢社会への対応、子育て世代への支援等、島々における均衡ある諸施策を展開し、取り組んでまいります。

町民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

2 町政運営、施策の基本的な考え方

私は町長に就任以来、町政運営のモットーに「決める行政、決める政治」を掲げ、多くの目標や政策をスピード感を持って実行できるよう、職員の先頭に立ち課題解決に向け、取り組んでまいりました。

今年度は、2期目のスタートの年となり、私が掲げた四つの基本目標、七つの基本政策を着実に推進するため、職員とともに一丸となって実行してまいります。

最重要課題であります、西表大原庁舎整備、世界自然遺産登録、新型コロナウイルス感染症対策へ向けた取り組みを強力に進め、併せて本町の産業振興、超高齢社会への対応、子育て世代への支援、デジタル社会への取り組みを推進し、行政サービスの効率化により、島々の均衡ある発展を図るべく必要な施策を展開してまいります。そのため、西表大原庁舎の早期整備に重点を置き、「協働と協調をもとに、心豊かにいきいきとすこやかに暮らすふるさとづくり」「竹富町の特性を活かした持続型社会の実現」「地方創生を推進し、愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」に向け邁進してまいります。

3 ふるさとづくりの基本目標について

基本目標の第一は、「西表大原庁舎の早期整備」であります。

大原庁舎整備については、先月着工した石垣庁舎の機能と併せて、新型コロナウイルス感染症対策や世界遺産登録を見据えた自然環境行政の拡充や伝統文化の情報発信の拠点施設となる多機能複合型の庁舎整備に取り組めます。今後は、スピード感をもって行政機能や職員配置、海上交通網などの諸条件整備を進め、町民の更なる利便性向上と行政サービスの維持に

取り組んでまいります。

第二は、「協働と協調をもとに、心豊かにいきいきとすこやかに暮らすふるさとづくり」であります。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、町民の声、各公民館、各種団体等の課題・要望に柔軟に対応するため、スピード感をもって課題解決に向け取り組んでまいりました。今後も、広報誌やホームページ、LINE などの各種電子媒体を活用した行政情報の提供・公開を行い、各公民館・各種団体との連携強化、男女共同参画の推進など、町民と行政が地域の課題を共有できる場づくり、住民主体の地域づくりを進めていく協働と協調のふるさとづくりに取り組んでまいります。

第三は、「竹富町の特性を活かした持続型社会の実現」であります。

本町は、古より脈々と受け継がれてきた世界に誇る類いまれな大自然や伝統文化、日本最南端に位置する島々の自然環境を保全・活用しつつ次の世代に継承していくため、国が 2050 年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指しているゼロカーボンシティへの取り組みを推進いたします。また、自然環境保全への取り組みの強化や自然環境に配慮した水資源の確保と安定的かつ効率的な水道事業の拡充、島ごとの歴史・文化・集落景観の保全、育成に努め、将来にわたる生活の基盤となる環境の保全と経済発展が両立できるような持続型社会の実現に取り組んでまいります。

第四は、「地方創生を推進し、愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」であります。

町民が町づくりの主役であることを基本に、島々が主体となり、課題を解決する住民本位の身近な地域づくり、わかりやすいしくみづくりの構築を推進し、島々に残る貴重な文化遺産を継承していくことにより町民が愛着と誇りを共有できるまちづくりを進めてまいります。

これまで、申し上げました「町政運営や施策の基本的な考え方」、「ふるさとづくりの基本目標」に基づき、令和3年度の基本政策につきまして、その大要を御説明申し上げます。

4 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

まず、一つ目の基本政策「安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり」についてであります。

昨年は、百年に一度と言われたパンデミック、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの日常生活は一変いたしました。十六の島々、九つの有人島から構成される本町においても医療・搬送体制の脆弱性や新しい生活様式の実践など様々な問題点が浮き彫りとなりました。医療や搬送体制の拡充と併せて災害発生時の対応として、住民の防災訓練への積極的な参加を図り、町内全域で自主防災組織育成の推進や救急搬送が多発する西表島西部地区においては、引き続き救急搬送を段階的に民間救急に委託する業務に取り組みます。今後とも関係機関、地域との連携を密にしながら、コロナ感染症対策、地域防災力の強化、交通安全対策や犯罪防止に努めてまいります。また、安全で快適な道路空間が図られるよう、各地域からの要望等も踏まえ計画的に町道整備を推進します。住環境については、地域ごとの特性や課題に応じて、町営住宅や民間活力を生かした住宅の整備を推進し、竹富町の島々らしい魅力ある住宅・居住環境の提供に努めてまいります。

水道事業については、配水管の維持管理や調査設計業務と計画的な工事着手を行い、水道水の安定供給に取り組んでまいります。

下水道・農業集落排水事業については、排水処理による環境保全と衛生的な生活環境を維持するため既存施設の適正管理に努めていきます。また、平成27年度に策定した竹富町汚水処理整備構想の見直しを行い、汚水処理施設の更新工事に取り組んでまいります。

5 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

次に、二つ目の基本政策「幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり」についてであります。

町民が安心して暮らすことが出来るよう、新型コロナウイルス感染症の対策として国主導によるワクチン接種事業や医療体制・搬送体制等について国、県、関係機関と連携し取り組んでまいります。また、住み慣れた島々で自分らしく明るく健康な生活をおくることができるよう、高齢者の特性や地域の実情を考慮しつつ保健事業と介護予防の一体的な取り組みを介護・医療・福祉関係者等との連携を密にし、地域・住民主体型の継続的な高齢者福祉施策の充実に努めてまいります。

障がい福祉等については、町民が結の心で支え合う「共生社会」の実現を目指し、障がい者が必要な福祉サービスやその他支援を受けながら地域の中で安心して暮らせるよう努めてまいります。

6 島人を育て心を育むふるさとづくり

次に、三つ目の基本政策「島人を育て心を育むふるさとづくり」についてであります。

島々での子育てを地域社会で支えるため、それぞれの住む地域において安心して出産や子育てができる環境整備を竹富町子育て世代包括支援センターを中心に取り組みます。また、引き続き、妊産婦、難病患者等への経済的負担軽減に向けた移動交通費や宿泊費等の支援に取り組んでまいります。また、新婚者への経済的負担を軽減するための支援事業に取り組みます。

児童生徒の心身の健全な発育に資するため、安全・安心で快適な教育環境づくりの推進、小中併置校の特性を活かした小中連携・一貫教育を引き続き取り組んでまいります。また、幼児・児童・生徒一人一人の可能性を伸ばし、未来を切り拓く資質・能力を育むため、ICT支援員派遣、スポーツ等各

種大会への派遣費を支援し、併せて社会教育・生涯学習等の機会充実に取り組んでまいります。また、本町の豊かな自然や海洋文化を活かし、将来にわたり海洋の恵沢を享受できるよう小中学校の教育課程における海洋教育を推進してまいります。

7 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

次に、四つ目の基本政策「環境を守り自然と調和したふるさとづくり」についてであります。

今夏頃に予定されている世界自然遺産登録やアフターコロナを見据えた観光客の増加等を視野に入れた諸課題の解決に向けて、自然環境・生物多様性の保全、希少な野生生物の保護、竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護の推進、地域自然資産法に基づく自然環境の保全及び持続可能な観光利用の取り組みへの支援、星空保護区の保全、竹富町観光案内人条例と連携した西表島エコツーリズム推進全体構想の策定に取り組めます。また、生活環境・公衆衛生の向上及び地域の環境美化等に向け取り組んでまいります。さらに、本町は我が国の排他的経済水域を有しており有人国境離島としての役割を果たすべく、海洋環境の持続可能な利用に向けた施策を推進してまいります。

8 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

次に、五つ目の基本政策「活力あふれ飛躍するふるさとづくり」についてであります。

活力ある地域社会と豊かな生活の実現に向けた産業基盤の構築に向け、基幹産業である、さとうきび、水稻、パインアップル、マンゴー、カボチャ、ばれいしょ等農産物の安定生産に向けて各種事業、交付金等を活用し生産振興を図ってまいります。畜産においては肉用牛拠点産地として認定を受けたことで更なる資質向上と生産農家の育成等を推進し、拠点産地としての体制強化に取り組めます。また、農林水産業の環境整備を推進し、担い手の確保・育成・農

地集積を積極的に進めていくと同時に栽培技術や経営能力の向上など、関係機関との連携を図りながら課題解決に取り組んでまいります。

商工業については、離島フェア、産業まつり等への出展支援、伝統工芸品の技術継承と後継者育成の推進、特産品や竹富町ブランドの普及のために関係機関と連携を図りながら取り組んでまいります。

物流・交通については、耐用年数が過ぎ老朽化が著しく、今後の農畜産物の輸送に支障をきたすことが懸念されている貨物船「農協やえやま(農協丸)」の代替船として多機能型貨物船の整備に向けて取り組みます。また、波照間航空路線の再開、島間交通については、関係機関と連携を取り、町内交通の円滑化と利便性向上に取り組んでまいります。

9 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

次に、六つ目の基本政策「個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり」についてであります。

地域の歴史や文化に根差した竹富町らしさを大切にし、島言葉をはじめ島々の伝統文化や芸能の継承と振興、地域の文化的資源を活用した新しい魅力を創造してまいります。

また、超高速ブロードバンドの環境整備の推進による情報の格差是正、教育と医療の充実に併せ、地域住民の利便性向上や産業等の活性化、ICTを活用した就業創出と移住・定住促進や地域の多様な課題解決に取り組み地域活性化につなげてまいります。さらに、観光振興については、滞在型・着地型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動及び受入体制強化・整備を関係機関と連携し取り組みます。また、今後の観光施策の基礎資料とするための入域観光統計調査や支援事業を引き続き実施してまいります。

10 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

次に、七つ目の基本政策「参画と協働による町民が主役のふるさとづくり」についてであります。

町民参加による地域が主体となったまちづくりを進めるため、地域の課題を発見し、ともに解決し町民と行政が一体となった役場づくりに取り組みます。また、7月から8月にかけて東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、令和元年に本町のホストタウンとして登録されたサンマリノ共和国との交流も深めてまいります。

財政の健全化と安定した財政基盤の確立に向け、引き続き経費の削減に努め、沖縄振興特別推進交付金事業（一括交付金）、沖縄離島活性化推進費、沖縄特定事業推進費、その他有効な起債事業等の活用、各種基金の効率的な運用に取り組んでまいります。また、今後の公共施設等の整備及び更新については、PPP や PFI といった公民連携の活用や中長期的な視野に立った、更新・統廃合・長寿命化等を行い、係る経費の財政負担の平準化に取り組んでまいります。

町税収入については、自主財源の根幹をなすものであり、賦課徴収において、公平・公正を確保する観点から引き続き、国税・県税・近隣自治体との連携を密にしながら現年度課税分の徴収に重点を置き、収納率の向上と、滞納繰越額の縮減に努めてまいります。また、本町の特産物、アクティビティや宿泊などの体験型の返礼品を幅広く活用する「ふるさと納税」の推進や本町のまち・ひと・しごと創生推進事業の実施に向けて、多くの企業からご支援いただく「企業版ふるさと納税」への取り組みを強化し、更なる自主財源の創出に取り組んでまいります。

1 1 結びに

以上、令和3年度の町政運営に対する基本的な考え方と基本政策について、その概要を御説明申し上げました。

これまでの説明を基に予算編成した結果、一般会計では、前年度当初比20.1%増の112億164万7千円としました。また、特別会計では、前年度当初比18.2%減の20億2,262万円としたところです。

一般会計と特別会計を合わせた予算案の総額としましては、前年度当初比12.1%増の132億2,426万7千円としました。

それぞれの予算案の総額と主な施策については、後掲のとおりでございます。

具体的な内容については、予算審議をとおして御説明申し上げることとしておりますので、何卒、御理解を賜りたいと存じます。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、なお一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げ、令和3年度に臨む施政方針といたします。

令和3年3月5日

竹富町長 西大舛 高旬

令和3年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算案

一 般 会 計 予 算	11,201,647千円
国民健康保険事業特別会計予算	620,613千円
介護保険事業特別会計予算	449,632千円
後期高齢者医療特別会計予算	32,086千円
水道事業特別会計予算	735,429千円
下水道事業特別会計予算	172,450千円
農業集落排水事業特別会計予算	12,410千円
総 額	13,224,267千円

ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策

① 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

地域安全対策（交通安全意識の啓発活動の推進、強化及び防犯対策）

消防・防災対策（消防団員教育訓練の充実強化・自主防災組織の育成）

沖縄観光防災力強化支援事業

救急救命業務委託事業

竹富配水池更新工事

大富配水管布設工事、大富配水管布設調査測量設計委託業務

竹富浄化センター及びマンホールポンプ電気設備等改築更新工事

竹富汚水処理整備構想業務委託

西表東部レクリエーション施設整備事業（継続）

町営住宅整備事業（白浜第二団地）（継続）

町営住宅整備事業（細崎団地）

町道荒原線道路整備事業（継続）

町道竹富一周線道路整備事業（継続）

町道ナカオレ線道路整備事業（継続）

町道鳩間7号線道路舗装工事

船浮イダの道路散策路整備事業（継続）

② 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

新型コロナウイルス感染症対策事業（ワクチン接種事業）

妊産婦支援事業（妊婦出産にかかる経済的な負担軽減）

健康増進事業（各種がん検診、健康教育・相談等）

食生活改善推進事業

難病等患者支援（渡航費及び宿泊費の助成）

国民健康保険事業（保健指導、保険税の適正賦課及び収納対策）

後期高齢者医療事業（疾病、負傷等に関する給付金の支給）

介護保険事業（在宅支援、地域密着サービスの基盤整備等）

高齢者福祉事業（渡航費の助成、お出かけサポート事業）

障がい福祉事業（渡航費及び宿泊費の一部助成）

竹富町民等船賃負担軽減事業（継続）

③ 島人を育て心を育むふるさとづくり

妊産婦支援事業（渡航費、宿泊費、航空運賃等の助成）

妊産婦検診・産後ケア事業

乳幼児健康診査事業（乳幼児期における疾病のスクリーニング、発育や
発達、子育てへの支援、予防接種事業等）

母子保健事業（両親学級、乳幼児・子育て相談、離乳食・幼児食実習等）

こども医療費助成事業（こども医療費及び渡航運賃等の助成）

複合型福祉施設整備事業（竹富・小浜地区）

竹富町ファミリーサポートセンター利用支援事業

母子及び父子家庭等医療費助成

結婚新生活支援事業（新規）

学力向上推進

小中連携・一貫教育の推進

竹富町海洋教育の推進

外国語指導助手派遣事業

外国青年招致事業

学校 ICT 支援員派遣事業

竹富町ホームステイ事業

鳩間島留学制度

離島高校生就学支援事業・離島高校寮生就学援助奨励金事業

西表小学校グラウンド整備事業

社会教育・体育、生涯学習の充実とフェスタの開催

放課後子ども教室の推進

全国離島交流中学生野球大会への支援

④ 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

世界自然遺産センター（仮称）

沿岸域の総合的管理に関する共同研究事業の推進

西表島エコツーリズム推進体制構築事業

地域自然資産法に基づく事業活動の支援

星空保護区継続事業

汚泥再生処理センター整備事業（継続）

西表焼却炉修繕事業（新規）

生活環境の保全対策（清掃点検、そ族昆虫駆除の実施）

不法投棄対策・海岸漂着物対策

地球温暖化対策の推進

竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業（継続）

外来種駆除事業

有害鳥獣捕獲活動支援事業

世界自然遺産登録への取組

デイゴヒメコバチ防除事業

赤土流出防止対策の推進（赤土等流出防止営農対策促進事業）

⑤ 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

沖縄小規模離島生活基盤整備推進事業（船浮地区）

離島航路確保維持改善事業費等補助金

多機能型貨物輸送船導入事業

さとうきび生産事業（植付・収穫機械化の促進、沖縄製糖業体制強化支

援事業：製糖業等宿泊施設整備（波照間地区）

もちきび生産事業（収穫作業の軽減、地力増進の推進、販売の促進）

水稻生産事業（ミルキーサマー等の普及拡大）

パインアップル、マンゴー、かぼちゃ、ばれいしょ等生産事業

（各種事業を活用した生産支援、優良種苗の普及促進、栽培講習会の
実施、ブランド化の推進）

竹富町和牛生産推進事業（優良遺伝繁殖牛導入支援、口蹄疫等進入防止

対策、生産基盤・環境整備の強化）

団体営農業集落排水事業（波照間地区）

竹富町地区農道整備事業（小浜、西表地区）

多面的機能支払い交付金事業

中山間地域等直接支払交付金事業

農地中間管理事業（農地の集積・集約化）

新規就農者の確保及び担い手の育成（農業次世代人材投資事業、新規就

農一貫支援事業）

竹富町農業振興地域整備計画策定事業（継続）

竹富町におけるドローンを活用した物資輸送民生化事業

⑥ 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

竹富町観光誘客・受入対策事業

（国内線機内 CM 広告、宣伝誘客活動、受入体制整備、観光人材育成）

竹富町入域観光統計調査

竹富町地域おこし協力隊・集落支援員の活用

地域プロジェクトマネージャーの活用（新規）

竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業

重要伝統的建造物群基盤強化事業

重要文化財建造物保存修理事業

竹富町文化財美化保全事業

史跡等活用整備事業

竹富町デンサ節大会開催補助

竹富町古謡発表会開催補助

竹富町シマムニ発表会開催補助

町史編集発刊事業

（第 8 巻 西表島〈上巻〉、第 11 巻 資料編 新聞集成、竹富町史だより）

⑦ 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

公共施設等総合管理計画に基づく公共施設整備の推進

自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画への取組

頑張る地域応援プロジェクト

西表大原庁舎整備の推進

小浜職員住宅整備事業

自主財源の確保

(徴税職員併任人事協定に基づく滞納整理、悪質な滞納者に対する公
売やタイヤロックなどの実施、口座振替及びコンビニ収納等の推進、
竹富町ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進)